

第4次総合計画 基本計画における地域別重点取組について

1 趣旨

第3次総合計画においては、市域を6ブロックに区分した地域別計画を定め、様々な施策に取り組んできた。

策定以降、公共施設等について一定の整備がされてきた中、市民ニーズの多様化等、社会経済状況が変化し、それらに柔軟かつ的確に対応するためには、施策ごとに地域の実情を踏まえ、6ブロックで一律に地域を捉えるのではなく、効果的・効率的な圏域設定を行う必要がある。そのため、第4次総合計画の基本計画において、地域別重点取組として、以下の内容を盛り込むこととする。

2 目的

- (1) 市民にとって身近な地域の取組をわかりやすく示す。
- (2) 市民や市がさまざまな取組を進めるための基本となる地域の特性等の情報を共有する。

3 イメージ

掲載項目	具体例
(1) 地域の概要及び特性	人口、文化、歴史、まちの特徴 等
(2) 地域マップ	駅・主要道路・地域資源等を掲載した地図
(3) 主な取組	基本計画に掲載している施策名、掲載箇所 等

4 地域の区割りの考え方

(1) 区割り

歴史的背景や一定の生活圏域を踏まえ、これまでの6ブロックで示すことが望ましいと考えるが、地域特性等については改めて分析することとする。

なお、地域間を分断させず一定のつながりをもってまちづくりを進める観点から、地域別重点取組に掲載する地域マップ上ではブロックの明確な線は示さない。

(2) 個別計画との関係

区割りを一律に考えるのではなく、各個別計画において、その分野が抱える課題を解決するための効果的、効率的な区割りを各々設定する。